

うど根株養成の技術改善

1. 試験のねらい

最近、県北地方のうどは根株の充実不良が問題になっている。そこで、この根株養成の改善を図るため、摘芯方法、種株形状および植付時期を検討した。

2. 試験方法

1) 試験場所 大田原市奥沢 689 星光男氏圃場 (厚層多腐植質多湿黒ボク土)

2) 供試品種 紫種 (東武鯉玉 2 号)

3) 処理内容

(1) 摘芯法試験 (平成 3 年度)

摘芯時期	摘芯程度
茎長 70cm 時	5 cm
100 ×	10
130	15

注. 植付け 4 月 16 日、
畝幅 1.3m、株間 70cm

(2) 種株形状試験 (平成 4 年度)

種株形状	芽の直径	根の直径
根付き大芽	≥ 30mm	20~15mm
中芽	29~20mm	14~10mm
小芽	19~10mm	約 10mm
根無し大芽	≥ 30mm	—
小芽	19~10mm	—

注. 植付け 4 月 24 日、畝幅 1.2m、株間 70cm、
連作 2 年目

(3) 植付時期試験 (平成 5 年度)

植付時期：3/25、4/9、26、5/10、26、6/11、25

注. 種株は植付けまで 2℃貯蔵、畝幅 1.2m、株間 60cm

3. 試験結果および考察

1) 摘芯は、根株重や芽の肥大状況および作業性などから総合的にみて、茎長 100cm 頃に 5 cm 程度行うのが適した。

2) 種株形状は、直径 30mm 以上の大きな芽と、太さ 20mm 程度の太い根を持ち、重さが 100g 程度のものが良かった。

3) 植付時期は、3 月下旬から 6 月下旬に約 15 日間隔で検討した。この結果、発芽所要日数は、3 月下旬植えが 30 日、4 月下旬植えが 20 日、5 月下旬植えが 15 日、そして 6 月下旬植えが 10 日程度であった。根株重および芽の肥大は早植えほど優れたが、県北では例年 5 月上旬まで晩霜があることを考慮し、植付適期は 4 月上旬と判断した。

4. 成果の要約

ウド根株養成法の改善を図るため摘芯方法、種株形状及び植付時期を検討した。この結果、摘芯は、茎長約 100cm 時に約 5 cm 行うのが適した。また、種株は直径 30mm 以上の大きな芽と、太さ 20 mm 程度の太い根を持ち、重さが 100g 程度のものが良く、植付適期は 4 月上旬と判断した。

(担当者 黒磯分場 村上文生)

表-1 摘芯法と根株の充実（平成3年度）

摘芯の方法		根株重 g/株	芽数 個/株		大芽(3芽/株)		摘芯盛期 (30%開始～ 70%終了)
時期	程度		直径≥20mm	10～19mm	長さmm	直径mm	
茎長70cm	5cm	1376	3.5	1.6	44	42	7/26～8/ 2
	10	1360	3.9	1.0	41	40	"
	15	1331	3.9	1.1	43	39	"
100cm	5cm	1396	3.9	0.7	45	42	8/ 8～15
	10	1394	4.5	0.9	47	41	"
	15	1265	4.2	1.2	43	38	"
130cm	5cm	1423	4.0	0.9	44	43	8/18～25
	10	1336	4.3	0.7	44	40	"
	15	1433	3.9	1.1	43	39	"

表-2 種株形状と根株の充実（平成4年度）

種株形状	種株の大きさ mm、g			根株重 g/株	芽数 個/株		大芽(3芽/株)	
	芽径	根径	株重		直径≥20mm	10～19mm	長さmm	直径mm
根付き大芽	36	20	118	1336	3.8	0.9	44	43
中芽	30	18	84	1121	3.3	1.0	45	43
小芽	21	15	55	982	3.0	0.8	40	39
根無し大芽	33	-	55	1056	3.6	1.1	43	43
小芽	22	-	25	821	3.0	0.8	41	39

表-3 植付時期と根株の充実（平成5年度）

植付時期	種株重 g/株	根株重 g/株	大芽(3芽/株)		発芽期	
			長さmm	直径mm	月/日	日数
3月25日	119	940	39	38	4/26	31
4月 9日	114	777	34	33	5/ 5	26
26日	110	678	31	34	16	21
5月10日	109	794	31	34	26	16
26日	109	661	29	32	6/ 9	14
6月11日	101	490	26	27	23	12
25日	115	345	26	27	7/ 4	9

注1. 各表とも、根株重は土を落とし根長約30cmで10株測定の平均値。

2. 表-2の根付き種株は根長約10cm。